

ハンセン病募金への御協力をお願いいたします

拝啓 時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

茨城県藤楓協会は、平成15年3月に解散しました財団法人藤楓協会の事業を継承し、多くの県民の皆様にご理解、御協力をいただきながら、ハンセン病療養所に入所されている本県出身の方々への支援、ハンセン病に関する正しい知識の普及などに取り組んでいるところです。

現在、全国では約1,200名の方々が、14か所の療養所において、故郷や実家を離れて入所生活を送られております。

このような中、当協会といたしましては、ハンセン病についての正しい理解を促進し、入所者の方々に対する支援活動を進めるため、本年度も引き続き「ハンセン病募金」として、県民の方々からの御支援をお願いすることといたしました。

皆様からの御厚情につきましては、機関紙「藤楓いはらき」の発行や様々な普及啓発をはじめ、療養所への慰問や本県出身の方々の里帰り（郷土訪問）などに有効に活用してまいります。

この趣旨に御賛同いただき、本募金に格別なる御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和元年8月

茨城県藤楓協会会長

茨城県知事 大井川 和彦

募 金 趣 意 書

茨城県藤楓協会は、多くの県民の皆様にご理解・御協力をいただきながら、ハンセン病療養所に入所されている本県出身の方々への支援や、ハンセン病に関する正しい知識の普及などの活動を続けてまいりました。

今後とも、療養所で生活を送られている入所者の方々に、ふるさとの温かい心が届けられるよう、そして差別や偏見のない明るい社会づくりに向けて努めてまいります。

これまでの皆様のご厚情に深く感謝を申し上げますとともに、前述の趣旨をご理解いただき、募金活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、趣旨にご賛同いただいた場合には、同封の振込用紙（郵便局、常陽銀行のいずれか）により、最寄りの金融機関にてお手続きくださいますようお願いいたします。（振込手数料はかかりません）

令和元年8月

茨城県藤楓協会役員一同

《茨城県藤楓協会》

| | |
|-------|-----------------------|
| 会 長 | 茨城県知事 |
| 副 会 長 | 県社会福祉協議会会長 |
| 副 会 長 | 県保健福祉部長 |
| 常務理事 | 県疾病対策課長 |
| 理 事 | 県地域女性団体連絡会会長 |
| 同 | 同 副会長 |
| 同 | 同 副会長 |
| 同 | 茨城新聞文化福祉事業団 理事長 |
| 同 | 県学校長会会長 |
| 同 | 県高等学校長協会会長 |
| 同 | 県市長会・町村会 常任理事兼事務局長 |
| 同 | 県医師会会長 |
| 同 | 県保健所長会会長 |
| 同 | 県社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 |
| 監 事 | 茨城県議会議員 |
| 同 | 日本赤十字社茨城県支部 事務局長 |

《各市町地域女性団体連絡会会長》

| | | | |
|--------|-----|---------|---------|
| 大井川 和彦 | 評議員 | 水戸市 | 久信田 もと子 |
| 森戸 久雄 | 同 | 日立市 | 野沢 かつ子 |
| 木庭 愛 | 同 | 土浦市 | 原井 みつ江 |
| 柴田 隆之 | 同 | 筑西市 | 野澤 和子 |
| 櫻井 よう子 | 同 | 龍ヶ崎市 | 原 加代子 |
| 川上 ヒロ子 | 同 | 常総市 | 武藤 智子 |
| 亀井 比志子 | 同 | 北茨城市 | 新保 洋子 |
| | 同 | 笠間市 | 加藤 和子 |
| 小田部 卓 | 同 | 取手市 | 倉持 由子 |
| 鬼澤 真寿 | 同 | 小美玉市 | 松本 栄子 |
| 村田 一弘 | 同 | 桜川市 | 市村 あき子 |
| | 同 | 大子町 | 菊池 レイ子 |
| 今関 裕夫 | 同 | 行方市 | 菅谷 京子 |
| 諸岡 信裕 | 同 | 鉾田市 | 大槻 たみ子 |
| 土井 幹雄 | 同 | かすみがうら市 | 斉藤 二三子 |
| | 同 | 古河市 | 関根 ひろ子 |
| 坂本 達保 | 同 | 牛久市 | 飯塚 厚子 |
| 戸井田 和之 | 同 | 鹿嶋市 | 眞中 ミヨ子 |
| 田中 豊明 | | | |